

第 15 回クリーンエネルギー大臣会合及び第 9 回ミッション・イノベーション大臣会合

閣僚共同声明

1. 我々、クリーンエネルギー大臣会合（CEM）及びミッション・イノベーション（MI）は、本日 2024 年 10 月 3 日、ブラジルのフォス・ド・イグアスにおいて、第 15 回クリーンエネルギー大臣会合（CEM15）及び第 9 回ミッション・イノベーション閣僚会合（MI-9）を開催した。
2. 我々は、力強く、持続可能で、バランスの取れた包摂的な成長を可能にし、かつ気候目標を達成する手段として、多様な道筋に沿って、クリーンで、持続可能で、公正で、低廉かつ包摂的なエネルギー移行を加速させることをコミットする。これらの行動は、政策と技術を加速度的に推進することにより、SDG7 の「クリーンで低廉なエネルギー」の目標に向けた進展を支援する。
3. 我々は、国連気候変動枠組条約第 28 回締約国会議において採択されたパリ協定の「第 1 回グローバルストックテイクの成果」を歓迎する。我々は、世界平均気温の上昇を産業革命前と比べて 2°C を十分に下回る水準に抑える、および、気候変動のリスクと影響を著しく低減させるだろうと認識しつつ、気温上昇を産業革命前と比べて 1.5°C に抑える努力を追求する、パリ協定の気温目標を再確認する。我々は、1.5°C の気温上昇では、2°C の気温上昇に比べて気候変動の影響が大幅に小さくなることを強調し、気温上昇を 1.5°C に抑える努力を追求することを決意する。我々は、資金、キャパシティ・ビルディング、技術移転が気候変動対策の重要な実現手段であることを強調する。
4. 我々は、利用可能な解決策を展開するための行動と投資だけでなく、グローバル・カーボン・ニュートラル／ネット・ゼロへの多くの道筋を示す将来の解決策における研究、開発、実証の重要性と、CEM や MI などのプラットフォームを通じた多国間協力が、SDGs とパリ協定の目標に向けた進展をいかに加速できるかを認識する。我々は、我々のワークストリームやミッションを通じて、また、より広範な分野での他者とのパートナーシップを通じて、2030 年までに野心的な成果を達成し、国連気候変動枠組条約第 28 回締約国会議で採択された世界目標を実施し、SDG7 目標やより長期的な目標を支援するために、緊急性をもって取り組んでいる。
5. 我々は、ブラジル政府が G20 エネルギー移行大臣会合と並行して CEM 及び MI 閣僚会合を主催し、G20 の野心設定アジェンダと CEM 及び MI の野心を行動に移すという焦点との間のシナジーを積極的に模索してくれたことに感謝の意を表す。我々は、ブラジルと協力し、G20 議長国としての成果を支援し、COP30 議長国としての CEM と MI の活動を前進させるための更なる方法を特定することを期待する。
6. CEM と MI は、バリューチェーン全体にわたり世界的なクリーンエネルギー移行を推進している。MI コミュニティは、研究・開発・実証（RD&D）の努力を結集し、結びつけることで、投資を最大化し、斬新な解決策の規模拡大を促進する。CEM コミュニティは、技術が広く採用され、個人およびビジネス用途で使用されることを確実にするために、障壁を取り除く政策を開発し、推進し、実施する。
7. これら 2 つの強力なプラットフォームの活動を、主要なパートナーとともに連携させることで、私たちは世界中で再現可能な、実行可能で多次元的なカーボンニュートラル／ネット・ゼロの道筋を創り出す。そして、我々は、人々を中心に据えた公正で包摂的なアプローチを通じ

て、すべての人が低廉な価格で信頼できる持続可能な近代的エネルギーにアクセスできるようにし、社会的弱者、労働者、産業を含むすべての地域社会に利益をもたらす。

8. 我々は、CEM と MI を通じて、世界最高峰の行動志向のプラットフォームとして協力し、メンバーがクリーンエネルギー目標を達成するのを支援するコミットメントを再確認し、我々のクリーンエネルギーの未来を確保するために必要な技術的、経済的、社会的変革を実現させる。

野心を行動に変える

9. ハイレベルの政治的リーダーシップと深い技術的専門知識を通じて、官民および市民社会の関係者を結集し、CEM と MI は、UNFCCC や G20 などの関連する多国間フォーラムを含め、クリーンエネルギー技術や協力に関連する主要な優先事項の引き上げを支援している。CEM と MI はまた、グローバルストックテイクの野心に応えるための実施プラットフォームを提供している。
10. CEM と MI のコミュニティにおける取組の幅広さと野心を示す、以下の CEM15/MI-9 からの**共同成果**は、多くのメンバーに支持され、CEM と MI がどのように協力して世界的なクリーンエネルギーの優先課題に取り組んでいるかを強調する：
 - **電力システムソリューションのための行動の呼びかけ**は、持続可能で安全かつ強靱な電力部門のインフラとシステムへの投資を支援するために、CEM 電力ワークストリームと MI グリーン電力未来ミッションが実施できる具体的な行動と目標の概要を示す。当該行動の呼びかけは、2030 年までに再生可能エネルギーを 3 倍にし、エネルギー効率改善率を 2 倍にするという世界的な目標に向けて前進する助けとなる。
 - 設立される **Gt by 2030 キャンペーン**は、CEM 炭素回収・利用・貯留イニシアティブと MI 二酸化炭素除去ミッションの共同の取り組みであり、2030 年までにギガトン規模の炭素管理ソリューションを加速させることを支援する。
 - CEM と MI のワークストリームは、**公正で包摂的な移行**を支援するためのコミットメントを発表した。G20 エネルギー移行作業部会および女性のエンパワーメント作業部会との共同イベントは、クリーンエネルギー移行における女性の重要な役割を強調した。CEM の平等イニシアティブと MI が新たに立ち上げた Inklusivity Catalyst によって開発された新しい**包摂性の実施枠組み**は、CEM と MI のイベントにおける包摂性と代表性に関する CEM と MI の作業を強化することを意図している。

CEM15/MI-9 で披露された CEM と MI の成果の全リストは、CEM 成果文書と MI ファクトシートに掲載されている。

CEM と MI はまた、次のような重要な進展も祝った：

- CEM のメンバーは、CEM の 15 周年を祝い、CEM の柔軟で行動志向のアプローチの価値を強調し、次の 10 年に向けて野心的な目標を設定した。
- CEM メンバーはまた、追加拠出金とともに CEM 事務局をさらに 3 年間支援することに同意した。
- MI メンバーは、MI 事務局への支援の継続を発表した。閣僚は、2017 年以来、MI 事務局を受け入れている英国の寛大さに感謝した。

- GEM と MI のメンバーは、2025 年の第 16 回クリーンエネルギー大臣会合（GEM16）及び第 10 回 ミッション・イノベーション閣僚会合（MI-10）を韓国が主催する旨の発表を歓迎した。

ブラジルは、GEM15/MI-9 の主催国であり、2024 年 G20 の議長国として、持続可能な未来型燃料のイノベーションと展開を進めるため、GEM イニシアティブの能力を活用し、MI ミッションとの協力を模索する未来型燃料行動計画を発表した。ブラジルは、持続可能な燃料、および行動計画を通じた GEM と MI の協力を、COP30 における優先課題とする意向を表明した。

2030 年とその先を見据えて、我々、GEM と MI の大臣は、世界規模でのクリーンエネルギーソリューションの研究、開発、実証、展開に緊急に引き続き尽力する。我々は、COP29 において更なる進展を示し、COP30 に向けてブラジルと協力し、エネルギーのイノベーションと展開を中心に据えることに引き続きコミットする。私たちは、GEM と MI を通じて、この努力に参加するよう他の国や組織に呼びかける。